

ゆい! のひろば



宮古島市教育委員会
広報誌

第5号

2013/5/1日発行

個性豊かな文化をはぐくみ、一人ひとりが輝く島



特集 平成25年度教育予算について

おいでよ! 行こうよ! 図書館

子ども劇団第二回公演

CONTENTS



- ◆ 海・山交流体験事業(白川町訪問)
- ◆ 定例会・臨時会開催状況
- ◆ 新研究所長あいさつ
- ◆ Topics

パニパニ☆スクール



- ◆ 砂川中学校「親子柔道大会」

文化財を巡る



- ◆ 【速報】

平成二十四年度ミナズマ遺跡発掘調査



特集

平成25年度教育予算について

～個性豊かな文化をはぐくみ、一人ひとりが輝く島づくり～

学校を、児童生徒を、市民の生涯学習活動を元気に！「魅力ある学校づくり推進事業」など予算化

宮古島市全体の平成25年度一般会計予算は、前年度より0.4%減の343億5,500万円となりました。そのうち、教育費は全体の7.2%を占める24億8,523万円となっており、校舎改築事業や3校屋内運動場改築事業の事業完了等により、前年度に比べ8億7,713万1千円(△26.1%)減額となりました。

平成25年度宮古島市一般会計予算

343億5,500万円
(対前年度比△0.4%)

そのうち教育費は

24億8,523万円

(対前年度比△26.1%)

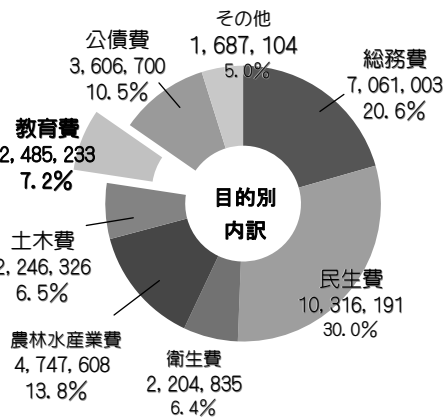
■教育部・・・16億6,723万円

(対前年度比△35.2%)

■生涯学習部・・・8億1,800万円

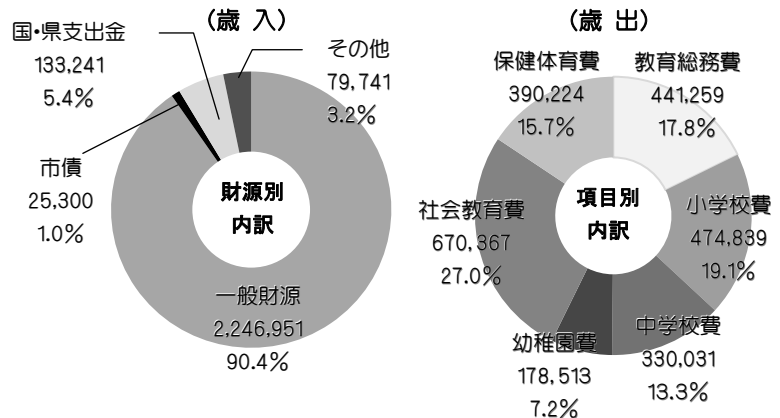
(対前年度比3.4%)

1. 宮古島市一般会計予算(歳出)



2. 教育予算分類

(単位:千円)



平成25年度の主な事業

1. 生きる力を育てる学校教育の充実

魅力ある学校づくり推進補助事業

1,000万円

児童生徒の学力向上や体力向上、豊かな心を育む取り組み等を目的とした独自の事業を計画する市立幼稚園、小・中学校を補助します。

学校施設改修事業

5,250万円

幼稚園、小・中学校施設等の危険箇所の修繕工事を行い、安心・安全な教育環境の充実に努めます。

宮古島市夢実現助成事業

240万円

人材育成を促進するため、「教育の日」で表彰された児童・生徒及び教職員等が、自ら企画する視察・研修等に参加する費用等を助成します。

- 学校給食補助扶助費(3,512万円)
- 校舎等教育施設整備関連事業(1,533万円)
- 学力向上対策事業(1,509万円)
- 教育研究所運営事業(824万円)
- 学校規模適正化対策班事務費(230万円)
- 研究指定校委託事業(15万円)

2. 国際交流の推進

○板倉区児童交流事業(124万円) ○白川町海山交流事業(90万円) ○台湾国際交流事業(93万円)

3. 家庭・学校・地域社会の連携で進める青少年健全育成の推進

○生涯学習振興費(725万円)・・・子どもの居場所づくりにおいて、地域ボランティア等を積極的に活用し、放課後子ども教室や学校支援地域本部事業を実施します。

4. みんなで学ぶ生涯学習・生涯スポーツの充実

市立図書館書籍購入

1,129万円

より多くの資料を利用していただくため、一般資料書や児童資料、移動図書館専用資料、郷土資料を購入します。

宮古島市スポーツマネジメントプラン策定

594万円

スポーツアイランド構想に基づく取り組みを推進するための調査分析を行い、総合的な整備計画を策定します。

- 生涯学習フェスティバル(67万円)
- 成人式事業(36万円)
- 生涯学習リーダーバンク(30万円)
- 指導者育成事業(27万円)



5. 芸術文化の振興と文化財の保護・活用の推進

宮古島市neo歴史文化ロード整備事業

2,945万円

平良地区に展開している歴史文化ロード「綾道(あやんつ)」を拠点とし、旧市町村の各地域に所在する「宮古島らしさ」に特化した文化財を中心とする、伝説と民話に彩られたロマン溢れる「宮古島特異の歴史と文化」を巡る散策コース等の整備を行います。

宮古島市こども劇団

1,581万円

演劇を通して児童生徒のコミュニケーション力を高め、オリジナル作品で宮古島を表現することで、地域の誇りを伝承する礎とします。

博物館設備改修事業

458万円

約8,000点に及ぶ資料の幅広い活用を図るため、収録資料を整理しデータベース化、デジタル化及び図録を作成します。

○ミナズマ遺跡発掘調査事業(4,168万円) ○地盛南岩陰墓地調査委託(165万円) ○市埋蔵文化財公開活用事業(415万円)

お知らせ

平成25年4月から
学校給食費を改定します



市の給食費(保護者負担額)は、旧5市町村の平均額で小学校が月額3,100円、中学校が月額3,400円となっていました。しかし、①文部科学省の「学校給食の標準食品構成表」の基準額を満たしていない(小学校月額4,100円、中学校月額4,900円)、②合併後7年間も改定がなくその間の物価上昇等に対応していない等の理由から、平成25年4月より給食費を改定します。

改定後の保護者負担額は、小学校が月額3,500円(400円増)、中学校が月額4,000円(600円増)と変更になります。今回の給食費改定を機に、献立の充実に尚一層努力して参ります。

※1ヶ月当たり

	負担別	改定前 (H24年度)	改定後 (H25年4月~)	増減額
小学校	保護者	3,100円	3,500円	400円
	市補助	291円	600円	309円
	国補助	291円	0円	△291円
	計	3,682円	4,100円	418円
中学校	保護者	3,400円	4,000円	600円
	市補助	291円	600円	309円
	国補助	309円	0円	△309円
	計	4,000円	4,600円	600円

川満弘志 教育長に聞く、
新年度の抱負

目標を高く!

勤めるようになってから、ずっと4月という季節が好きだ。

新しい職場へ行く。新しい人が集まる。

何とも清々しい気分になる。

私たちは、何か縁あって同僚となる。

それを大切にしたい。

教育長の仕事は、職員を幸せにすることだ。

幸せにするとは、「専門的な力」を身につ

けさせること。

高いレベルで仕事をする。

それが市民の福祉の向上

につながる。

川満弘志



問い合わせ

【学校給食費に関して】

平良学校給食共同調理場 ☎72-4241・72-2265

おいでよ！
行こうよ！

図書館

新しい先生に新しいクラスメート、
わくわくドキドキの新学期の始まりです。
市立図書館では新学期スタートに際し、
新着本が目白押しです！



島

新たに児童・生徒のみなさんも対象に！
め宝育成情報支援プロジェクト

たくさんの知識にふれ、将来の自分へ投資しよう！
「知」の財産は、決してあなたを裏切りません

平成23年度よりスタートした「島ぬ宝育成情報支援プロジェクト」。幼い子ども達を島の宝と位置づけ、その成長に必要な情報を支援する活動を展開してきました。今年度からは、児童・生徒のみなさんにも「図書館資料を通じて、情報を豊富に取得し将来の参考にして欲しい」との願いから、更にプロジェクトをバージョンアップします。

小説類はもとより、各大学や専門学校の要覧、各資格取得のためのガイドブックなども揃え、「まだ、将来のことははっきり決めていない」という方に、多くの資料に目を通して視野を広げ活用していただきたいです。

また、パソコンやiPad、スマートフォンなどの最新実用書も取り揃えていますので、この機会にぜひ図書館に足を運んで資料をご活用ください。

三

電気軽自動車

ミニ「エコみらい号」がやってくる！

ミニ「エコみらい号」を子供会や自治会などのイベント会場に呼びませんか？

市立図書館には、「みらい号II世」と「夢の光号」2台の移動図書館があり、現在35ステーションへ出向いて活動を展開しています。

本市が「エコアイランド宣言」をして環境にやさしい様々な取組を展開する中、図書館でも電気自動車を利用し、新たに移動図書館・ミニ「エコみらい号」の臨時ステーションを設置して活動を拡充しています。

これまでに、市主催の「宮古島エコフェスタ2012」や「エコハウス暮らし講座」などの各イベント会場で、「エコ」に関する資料を中心に貸出サービスを行ってきました。ミニ「エコみらい



号」は、住宅地や小規模施設などへのステーションが可能ですので、ぜひご利用ください。

ご存知ですか？

図書館の便利な活用法



I リクエストシステム

図書館内や移動図書館車にない資料は、市民のみなさんからリクエストができます。



II 団体貸出システム

団体登録による利用制限は50冊なので、学級文庫やサークル、各事業所文庫にご活用ください。福島県の新聞2紙閲覧可能です。



III エプロンシアターなどの貸出

図書館にはエプロンシアターやパネルシアター、大型絵本、紙芝居などをたくさん揃えてあり、個人や団体に貸出を行っています。学校や各集会、お誕生日会での読み聞かせなど使い方はいろいろです。



IV 蔵書検索

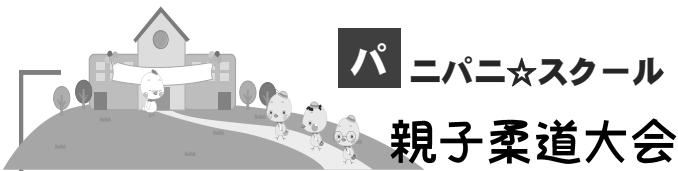
宮古島市HPから市立図書館内の蔵書検索ができ、パスワード登録済みの方は貸出予約もできます。

【開館時間】

■平良図書館	一般室 10:00～19:00	※土曜日は18時、日曜日は17時に閉館します。
	児童室 10:00～18:00	※日曜日は17時に閉館します。
■平良北分館	10:00～18:00	※日曜日は17時に閉館します。
■城辺館	10:00～18:00	※日曜日は17時に閉館します。

【休館日】

■平良館・城辺館	毎週月曜日
■北分館	毎週火曜日
※慰霊の日、年末年始の休日、祝日法で定められた祝日	



親子の絆深め、粘り強い子に

砂川中学校では、親子の絆を深め、健やかな子どもの成長と何事にもあきらめずねばり強い生徒育成を目的として、毎年「親子柔道大会」を親子交流活動として開催しています。大会前には、柔道経験のない保護者が夜間の練習に熱心に励み、まるで「親の背中をみて大きく育て」と背中を語っているようです。

大会では、父と息子、母と娘、父と娘、母と息子と様々な勝負が繰り広げられ、父親に力の差を見せつけられて悔しがる生徒、親に勝利し得意顔でガッツポーズする生徒、我が子の成長を自らの体で感じる父親・母親、様々な親子の姿があり、会

砂川中学校

SUNAKAWA JUNIOR HIGH SCHOOL

場を沸かせていました。この大会によって、生徒が苦手なことにも積極的に挑戦する態度が培われ、自己を高めようと努力する態度が育ちつつあります。柔道の昇段・昇級審査においても、84%の生徒が昇段・昇級（初段8名、1級7名、2級5名、3級19名、4級9名）を果たしています。



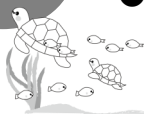
【必死で我が子を抑え込むお父さん】
奥は、応援する保護者のみなさん

過去の成績【親子チーム】

平成22年	20勝0敗1分
平成23年	11勝4敗4分
平成24年	17勝11敗12分



海



山



白川町訪問

交流体験事業

平成25年1月12日～15日の3泊4日の日程で、下地小学校5・6年生10名が、岐阜県白川町を訪問し海・山交流体験を行いました。

海・山交流体験事業は平成15年から始まり、海の無い岐阜県白川町と山の無い宮古島市の間で行われ、夏（8月）には岐阜県の児童が

宮古島を訪れ、冬（1月）

には宮古島の児童が岐阜県を訪問し、自然環境の異なる他県同士で見聞を深める交



流を行っています。

下地小学校の子供達は、白川町の子どもたちと寝食を共にしながら、白川町の歴史や文化を学び、白川町の郷土料理作り、スキー体験などさまざまな体験を通して交流を深めました。今回参加した児童は「思い出に残る大変貴重な体験交流会ができた」と語っていました。



報告

学校給食モニタリング事業の結果について

県教育庁が文部科学省の委託を受けて、学校給食における放射性物質の有無や量について実態を把握する検査が、次の要綱により実施されました。

市では、平良調理場と城辺調理場が県の指定を受けて測定検査を受けた結果、両調理場で放射性物質は検出されませんでした。

安全・安心の「おいしい給食」
作りに努力してまいります！



【実施要綱】

- 検査期間 平成24年11月26日～平成25年3月8日（4回実施）
- 検査対象 市町村立学校給食調理場12カ所
県立学校給食調理場2カ所
- 検査機関 沖縄県環境科学センター（浦添市）
- 検査方法 1週間分の給食をミキサーにかけて、半導体検出器で測定する。

【速報】平成二十四年度ミヌズマ遺跡発掘調査

およそ700年前の大規模な集落全体の様相が明らかに…

宮古島市教育委員会は、松原南地区ほ場整備工事に伴って、平成二十四年十一月より、ミヌズマ遺跡の本発掘調査を実施しています。これまでの発掘調査では、掘立柱の建物跡が十基以上確認されており、埋葬された人骨も四体検出さ

『宮古史伝』によれば、十四世紀中頃に、与那覇原一帯を拠点とする集団が、高腰城跡や大嶽城跡、大浦多志などの宮古の各集落へと攻め入ったとし、その一連の争乱は、与那覇原軍といわれています。その与那覇原軍の中で攻め滅ぼされた集落の中に、西美野、美野、美野娥麻という三つの集落も含まれており、現在の久松集落より南東へ2kmほどいったミヌズマ遺跡がその集落跡と言われています。現在、その当時に利用していたとされる井戸が、「ミヌズマ遺跡の井戸」として市の史跡に指定されており、一帯には、中国産の褐釉陶器や土器などが散布しています。



検出された6本柱の建物跡

調査は、平成二十五年度も継続して実施され、今後の発掘調査で、遺跡の集落の様相がより明確にされていくことが期待されます。

また、遺跡からは、その当時の人々が使用していた中国産の陶磁器や、土器が出土しており、概ね十三、十四世紀を中心とした集落跡であったことが分かっています。中には、宮古島で初めて出土した磁州窯産の焼物もあります。

れています。建物跡は、四本や六本の柱からなるものが多い。柱を立てるための穴には、底の方に石を敷いて柱が沈まないようにしたり、柱と穴の間に石を詰めて、柱を固定するための工夫がなされています。

定例会・臨時会 の開催状況

第10回(1月23日)、第11回(2月22日)、第12回(3月28日)定例教育委員会、第4回(3月22日)、第5回(3月25日)臨時教育委員会が開催されました。

平成25年度学校給食費の保護者負担金の改定について、宮古島市立学校給食共同調理場運営委員会からの答申内容を確認したほか、教育委員会事務局の組織改編に伴う教育委員会組織規則の一部を改正する規則、事務決裁規程等の一部を改正する訓令等が全会一致で可決されました。

また、空席となっていた宮古島市教育研究所の所長に野原敏之氏(元小学校校長)を委嘱する案を可決しました。

新教育研究所

所長就任あいさつ



教育研究所
野原 敏之 所長

4月1日付で教育研究所所長を拝命しました野原敏之です。教育研究所は、市が抱える教育研究課題に特化した研究を推進し、その解決に資することが大きな使命だと考えます。

喫緊の課題は学力向上であり、その解決を早期に図って欲しいと市長並びに教育長からも激励を受けています。小中学校長の皆さんと連携・協力し、特に小学校の学力向上に向けた研究に力を入れたいと考えています。よろしくをお願いします。

【主な審議事項】

- 「第二次集中改革プラン(施設管理の見直し)について(答申)」について
- 宮古島市立幼稚園保育料及び入園料徴収条例の一部を改正する条例について
- 宮古島市私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱の一部を改正する告示について
- 宮古島市日本語学習支援員設置要綱について
- 宮古島市学校施設維持管理業務嘱託職員の報酬及び服務その他の勤務条件等に関する要綱について
- 宮古島市教育委員会の任命に係る職員の勤務時間及び休暇等に関する規則の一部を改正する規則について
- 宮古島市立小学校及び中学校の指定通学区域に関する規則の一部を改正する規則について
- 宮古島市教育委員会事務決裁規程等の一部を改正する訓令について
- 宮古島市教育委員会人事異動の承認について

TOPICS

第二回公演

宮古島市子ども劇団

3/16 土

自信に満ちた表現！成長の証！

3月16日(土)にマティダ市民劇場にて「宮古島市子ども劇団」第2回公演が行われ、小学生が中心の「ゆうたっちょの中学生絵日記」の再演と高校生を中心とした「チェンジ・ザ・ワールド」に挑戦しました。

東京芸術座演出家・杉本孝司氏指導の下で一年を通し培われたこども達の表現力は、のびのびとした表情に満ちあふれ、観客のこころを掴んでいました。特に、「チェンジ・ザ・ワールド」は「演劇人に見せたいぐらいだ」と言わしめるほど、指導者の杉本氏も絶賛する演技を魅せていました。

平成24年度

宮古島の教育を語る市民大会

2/17 日

2月17日(日)に市中央公民館で「宮古島の教育を語る市民大会」を開催しました。会場には、市民や教育関係者・学生など多数の参加がありました。

北中学校吹奏楽部のサクソフォン四重奏、久松中学校ダンスチームがオープニングを飾り、教育功労賞・模範児童生徒、標語入賞者の表彰に続き、市の学力向上対策について報告を行いました。

「夢へのチャレンジ、宮古への想い」をテーマにした公開フリートークでは、市内中学生2名を交え、宮古島出身で難関大学に合格した4名の大学生が、それぞれ大学合格にいたるまでの体験談や大学生活を語り、高校受験や大学受験を控えた後輩達にエールを送りました。

会場に訪れた市民は、大学生4名の体験談や助言に真剣な表情で聞き入り、宮古島の教育の充実・発展に向け理解を深めました。



観客の50代の男性は、「テレビドラマを観ても涙を流すことは無いが、涙が止まらず、出口に向かうのが恥ずかしかった」と、子どもたちの演技に引き込まれたと話していました。

今年度は、宮古島の歴史を踏まえながら、島に暮らす人々の「こころ」を表現するオリジナル創作劇の発表を予定しております。



【宮古島市子ども劇団】

演劇をとおして人格形成を図り、こどもたちの心の成長に寄与する目的で行われる事業です。

第23回企画展

現代宮古の作家たちIX

2/23 土

3/24 日

市総合博物館では、2月23日(土)～3月24日(日)の期間、第23回企画展「現代宮古の作家たちIX」を開催しました。

本企画展は、宮古島内・島外で活躍する宮古島出身の作家12名の作品を一堂に集めた美術展で、絵画やオブジェなど計24点の作品を出品していただきました。分野も油彩画・水彩画・コンピューターグラフィック・水墨画などの絵画だけでなくファイバーワークやオブジェなどの立体の作品も出品され、バラエティーに富んだ内容でした。

また、3月17日(日)には、出品者の西里恵子さんを講師に迎え、絵画教室を開催しました。



↑ 関連行事「絵画教室」

美術鑑賞授業の様子→
(狩俣小・宮島小)



平成24年度 宮古島市卓球教室

市総合体育館にて、2月21日(木)～2月23日(土)の3日間の日程で卓球教室が開催されました。

技術の向上や体力作りと共に青少年の健全育成を図ることを目的として開催した教室には、35名の小学生から高校生までの児童・生徒が参加しました。

宮古卓球連盟関係者が講師となり、フットワーク、ラケットの角度、基本的な技術の指導を行いました。また、指導者として県内トップクラスの選手からも招かれ、模範試合を行い、教室を大いに盛り上げました。

参加した本村君(南小3年)は「卓球はラリーが続くとおもしろい、バックドライブを上手になってもっと強くなりたい。また、沖縄県のトップレベルの選手の試合が見れてよかった。」と笑顔で話し、楽しい3日間の卓球教室となりました。

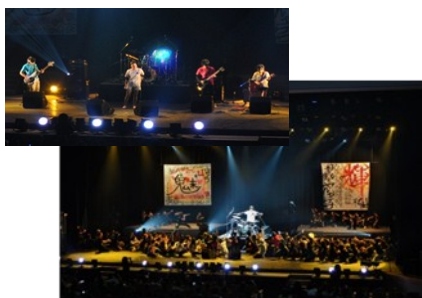


マティダ市民劇場自主事業 マティダライブ

2月24日(日)にマティダ市民劇場で「マティダライブV」が行われ、多くの高校生がエネルギッシュなバンド・ダンス・書道パフォーマンスを繰り広げました。

ポスター作成や記者会見など準備から運営まで高校生が自ら行い、公演に向けた練習では、バンド出演者らが市内ライブハウスで活躍するミュージシャンから直接アドバイスを受け、「魅せる舞台」を目標に練習を積み重ねました。

実行委員・出演者・ボランティア総勢100人余の高校生が繰り広げたライブは、涙のフィナーレとなりました。訪れた40代の女性は、「高校生の積極的な姿勢がとても良く、宮古島の祭典、主張の場として継続して欲しい」とコメントしていました。



第6回子ども博物館 「渡り鳥の観察会・閉校式」

市総合博物館では、2月24日(日)に今年度最後の子ども博物館を開催しました。

今回のテーマは「渡り鳥の観察会」で、講師に宮古野鳥の会の仲地邦博氏を迎え、池間湿原の野鳥を観察しました。池間湿原では、カモやサギの仲間が多く見られ、全部で21種類の野鳥が観察できました。また、タカの仲間のミサゴが、空から水中に突っ込んでエサを取る様子も観察でき、子どもたちも歓声をあげていました。

全6回の子ども博物館を通して、子ども達が宮古の歴史・文化・自然に興味関心を持ち、さらに宮古のことを好きになるきっかけになったと思います。



5月の行事

- おはなしたまてばこ・おはなし会
平良図書館:毎週土曜日
城辺図書館:第1日曜日
- 平成25年度 第1回子ども博物館
「開校式・昔の遊びーゆび笛」
5月19日(日)／市総合博物館



編集後記

昨年9月に第1号を発行し、ついに本号にて編集後記を書くことができました。「開かれた教育行政」を目指し、刊行がスタートした市教育委員会広報誌ですが、行政情報を発信するだけでなく、宮古島に溢れる教育や学びの情報を紹介していきたいと思っています。どうぞ、よろしくおねがいします。

編集担当:教育総務課

募集

平成25年度 宮古島市奨学生を募集します



宮古島市奨学資金貸与条例に基づいて、平成25年度宮古島市奨学生を募集します。

申込資格 市内に居住する者の子弟で、学業優秀かつ学資の支弁が困難と認められる県内・県外の大学生(短期大学含む)及び専修学校の専門課程(修学年限2年以上)の学生。

他団体との重複貸付は認められません。

募集人員 若干名

貸与額 県内学生 月額2万円、県外学生 月額3万円
※毎月給付、半年払いのいずれか選択

貸与期間 当該学校における正規の終業期間

受付期間 平成25年5月7日(火)～5月24日(金)

お申し込み先 教育総務課(城辺庁舎内) ☎77-4942